

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム	評価対象年度	令和元年度
事業者名	株式会社藤子ミュージアム 代表取締役 伊藤 善章 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号	評価者	市民文化振興室長
指定期間	平成23年7月15日～令和3年3月31日	所管課	市民文化局市民文化振興室

2. 事業実績

※□内は平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)実績

利用実績	<p>令和元年度総入館者数:363,707人〔前年:428,655人〕 (来館者数減の検証) ※海外での映画公開の中止等の影響による外国人来館者数の減 前年比19,000人 令和元年東日本台風による臨時休館10月12日(土)、13日(日)による減 前年同月比想定3,500人 新型コロナウイルス対応のため3月5日から31日までの臨時休館による減 前年同月比想定36,000人</p> <p>【内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>大人・大学生</td> <td>241,661人</td> <td>66.4%</td> <td>〔前年:287,697人</td> <td>67.1%〕</td> </tr> <tr> <td>高校生・中学生</td> <td>12,479人</td> <td>3.4%</td> <td>〔前年:13,567人</td> <td>3.2%〕</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>80,290人</td> <td>22.1%</td> <td>〔前年:90,489人</td> <td>21.1%〕</td> </tr> <tr> <td>無料入館者</td> <td>29,277人</td> <td>8.1%</td> <td>〔前年:36,902人</td> <td>8.6%〕</td> </tr> </table> <p>うち外国人入館者数 65,471人、18.0%〔前年:84,815人、19.8%〕 (※無料音声ガイド「おはなしデンワ」に基づく集計)</p>	大人・大学生	241,661人	66.4%	〔前年:287,697人	67.1%〕	高校生・中学生	12,479人	3.4%	〔前年:13,567人	3.2%〕	こども	80,290人	22.1%	〔前年:90,489人	21.1%〕	無料入館者	29,277人	8.1%	〔前年:36,902人	8.6%〕
大人・大学生	241,661人	66.4%	〔前年:287,697人	67.1%〕																	
高校生・中学生	12,479人	3.4%	〔前年:13,567人	3.2%〕																	
こども	80,290人	22.1%	〔前年:90,489人	21.1%〕																	
無料入館者	29,277人	8.1%	〔前年:36,902人	8.6%〕																	
収支実績	<p>1 指定管理事業 収入 465,947,077 円〔前年:514,093,490 円〕 ※新型コロナウイルス対応のため3月5日から31日までの臨時休館の市からの補償 28,717,375円含む 支出 475,874,228 円〔前年:471,576,269 円〕 →収支決算 -9,927,151 円〔前年:42,517,221 円〕</p> <p>2 自主事業収支 収入 350,301,058 円〔前年:296,832,058 円〕 支出 240,560,676 円〔前年:234,055,996 円〕 →収支決算 109,740,382 円〔前年:62,776,062 円〕</p> <p>3 当期収支差額 99,813,231 円〔前年:105,293,283 円〕</p> <p>4 次期繰越額 1,002,840,192 円〔前年:935,250,332 円〕 ※うち400,000,000円はH23藤子プロからの寄附金</p>																				
サービス向上の取組	<p>●ゴールデンウィーク期間及び夏のお盆期間において、初の夜間営業(20:00まで)を行うとともに、地元の洗足学園音楽大学と連携した音楽会(星空音楽会)の開催、はらっぱシネマと題して、企画展で展示中の原画のアニメを屋外はらっぱに設置した大型スクリーンで放映し、利用者ニーズへの対応や新たなミュージアムを体感することができるイベントを実施した。</p> <p>●『ドラえもん50周年展』として、ドラえもんにまつわるテーマで第1期7月20日～1月30日、第2期2月8日～開催し、第2期からは展示室1の大幅なリニューアルを行い、新たに、まんが、アニメ、映画などクロスメディアの先駆けとして50年間活躍を続けてきた『ドラえもん』の歴史を振り返る展示とした。</p> <p>○開館8周年記念祭の開催、季節に合わせたイベントを行ったほか、誕生月の入館者に対して特別ステッカー等を配布したり、ハロウィンやクリスマスの季節に合わせた装飾等により、写真撮影スポットを提供した。</p> <p>自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ミュージアムオリジナル玩具(ガシャポン)・スタンプ・クレーンゲームの販売 ■音声ガイド(おはなしデンワ)の提供 作品を鑑賞しながら理解を深められるよう、4歳以上の全来館者に対し作品の説明やエピソードを収録した音声ガイドを無料貸与した(大人用のほか子ども向けも用意。外国人向けには英・中・韓の3か国語で提供)。 ■包装菓子等の販売 3階「はらっぱ」においてミュージアムオリジナルのお土産販売を行ったほか、夏場は飲み物等を販売した。 <p>その他</p> <p>行政財産の目的外使用として「藤子・F・不二雄ミュージアム製作委員会」が運営しているカフェ・ショップと連携して、広報や案内を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ミュージアムカフェ(参考) キャラクターにちなんだオリジナルメニューを揃えたカフェを営業し、各種フェアや季節毎の限定メニューなど工夫を凝らした新メニューを考案し提供した。 ■ミュージアムショップ(参考) オリジナルアイテムが豊富なグッズショップを営業し、各種フェアに合わせて新アイテムを取り揃えた。 																				

3. 評価

※●は新規事項、○は継続事項

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
利用者満足度・事業成果	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	8	5 (H30 5) (H29 4)	8	
		利用者満足度は向上しているか				
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか				
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4 (H30 4) (H29 4)	4.8	
		当初の事業目的を達成することができたか				
	魅力の向上	川崎市の魅力の増進に寄与しているか	6	5 (H30 5) (H29 5)	6	
	(評価の理由)					
	<p>【利用者満足度】 ●ゴールデンウィーク期間及び夏のお盆期間において、初の夜間営業(20:00まで)を行い、新たに設けた17時の入場回においても平均で300人以上が来館するなど、利用者ニーズへの対応や新たなミュージアムを体感することができる取組を実施した。 ●『ドラえもん50周年展』として、ドラえもんにまつわるテーマで第1期7月20日～1月30日、第2期2月8日～開催し、第2期からは展示室1の大幅なリニューアルを行い、新たに、まんが、アニメ、映画などクロスメディアの先駆けとして50年間活躍を続けてきた『ドラえもん』の歴史を振り返る展示とした。(再掲) ○お客様アンケート(2,057枚)、出口調査(155件)を実施し、これらの情報をスタッフ全員で共有するとともに運営に反映させている。キャラクターへの愛情を持った、展示、カフェ、ショップに関する好意的で前向きなご意見を多数いただいている。展示に対する満足度については、おおむね満足が91%と高い満足度となっている。 ○アンケートや出口アンケートの結果から、来館回数や来館者のより詳細な情報の入手方法、来館に当たって楽しみにしていること、ショップ、カフェなどに対する要望など来館者の動向・ニーズを把握するとともに、ホームページやSNSで積極的に最新情報を発信した。</p>					
	<p>【事業成果】 ○令和2年2月から「Fシアター」の新作「ドラえもん誕生」、「セイカイはのび太？」を上映した。 ○ホームページやSNSから情報を得る入館者が多いことを踏まえ、3種類のSNSを活用し、各媒体にあわせて掲載画像を変更するなど工夫をしながら、ミュージアムをはじめ、生田緑地や市・区など地域の話題・出来事等を発信するホームページブログ及び公式SNSから、最新の情報配信を実施している。(令和2年3月末Facebookの「いいね」数は約31,000[前年31,000]、Twitterのフォロワー数は約32,000[前年26,000]、Instagramのフォロワー数は約22,000[前年18,000])</p>					
<p>【魅力の向上】 ●ゴールデンウィーク期間に地元の洗足学園音楽大学と連携し、屋外のはらっぱにおいて藤子F作品の楽曲を弦楽、金管楽の日を定め音楽会(星空音楽会)を開催した。 ●平成31年2月に小田急電鉄株式会社と調整、連携して実施した小田急線登戸駅におけるドラえもんのキャラクターによる装飾が、高く評価され、日本サインデザイン金賞(2019.7)、日本空間デザイン賞入賞(2019.9)、グッドデザイン・ベスト100受賞(2019.10)、ディスプレイ産業賞入賞(2019.11)、等により、多くのメディアやSNSで取り上げられ、藤子ミュージアムはもちろんのこと、地元の登戸駅の知名度も上げることとなった。 ○令和元年8月11日～8月17日のお盆期間において、開館時間を20時まで延長し、新たに通常の入場回に加えて17時からの入館回を設け夜間営業を行うとともに、はらっぱシネマと題して企画展で展示中の原画のアニメを屋外はらっぱに設置した大型スクリーンで放映や、おみこしのイベントを実施など、来館者が楽しめる工夫を行った。</p>						

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3 (H30 3) (H29 3)	4.8	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	5 (H30 5) (H29 4)	6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	4 (H30 4) (H29 4)	4.8	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由)					
	<p>【効率的・効果的な支出】 ○指定管理事業において、事業を行うにあたって必要な経費を支出できている。</p>					
<p>【収入の確保】 ○自主事業の収入として、引き続きミュージアム広告へ協力していただける事業者から協賛を得るとともに、新たにLINE GAMEの協賛を得て協賛額の増を図った。 ○目的外使用許可によりミュージアム製作委員会が運営しているミュージアムショップ・カフェについて、施設側でショップ・カフェ関連の問い合わせ対応を多数行っていることや、魅力あるミュージアム運営がショップ・カフェの利用を促進させていることから、同委員会から給与負担金や展示物負担金を得ている(給与負担金…給与手当の1/2相当額 展示物負担金…展示替えに係る費用の1/2相当額)。 ○自主事業においては、音声ガイド(おはなしデンワ)の協賛は終了したものの、その他の協賛金、ドラえもん50周年展と連動した限定まんがの販売、ガシャやスタンプメーカーなどのグッズ販売、どら焼きや川崎銘菓煎餅包装菓子の販売の取組もあり、約10,900万円の黒字となるなど、入館料以外での収入源を確保し、安定した事業運営に寄与している。</p>						
<p>【適切な金銭管理・会計手続】 ○税理士の有資格者を職員として配置するとともに、会計参与(税理士)のアドバイスを受けながら処理しており、適切かつ厳格なチェック体制のもと金銭管理・会計手続を行っている。</p>						

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	指定管理業務や自主事業が仕様書や事業計画等に基づいて適切に提供されたか	8	5 (H30 5) (H29 5)	8
		基本理念等に基づき、適切なサービスが提供されたか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		新規及びリピーター確保に向けた付加サービスの取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4 (H30 4) (H29 4)	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4 (H30 4) (H29 4)	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	地域貢献・他施設との連携	地域や生田緑地の施設等との連携は適切に実施されたか	4	5 (H30 5) (H29 5)	4
(評価の理由)					
<p>【適切なサービスの提供】</p> <p>●ゴールデンウィーク期間及び夏のお盆期間において、初の夜間営業(20:00まで)を行うとともに、地元の洗足学園音楽大学と連携した音楽会(星空音楽会)の開催やはらっぱシネマと題して企画展で展示中の原画のアニメを屋外はらっぱに設置した大型スクリーンで放映、利用者ニーズへの対応や新たなミュージアムを体感することができるイベントを実施した。(再掲)</p> <p>○各休み期間においては定例火曜日の休館日にも開館し、利用者ニーズに対応した、館の運営を行っている。</p> <p>○外国人入館者に対応するため、3か国語(英中韓)館内案内リーフレットの配布、無料音声ガイドの貸出を行うとともに、Fシアターの短編映像は英語字幕付きとしている。</p> <p>○展示物の解説を聞くことができる音声ガイドを入館者に無償で貸し出すほか、聴覚障害者の方にも、展示を深く楽しんでいただけるよう、解説内容を文字に起こした“読むガイド”を日本語(おとな・子ども)、中国語、英語、韓国語版を用意した。</p> <p>○外国人から問い合わせの多い周辺の飲食店情報マップの作成・配布や、チケット購入方法がわからず直接来館した人向けの多言語版のチケット購入方法チラシの配布を行っている。</p> <p>【業務改善によるサービス向上】</p> <p>○入館待ち時間の短縮のため、オペレーション等の改善を常に実施するとともに、熱中症対策として、夏の期間には入口と屋外にミスト装置を設置した。</p> <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <p>○平成31年2月から開始した「原画で読む今月の一話」が、全て本物の原画で1話を鑑賞できることを評価する声が多いことから、継続して実施し、毎月季節に合わせたテーマで作品を展示した。</p> <p>○アンケート(2,057件)等で寄せられた来館者の意見を踏まえ、カフェ・ショップ運営事業者と共有し、新メニューや新商品の開発につなげ、総体としてミュージアムの魅力向上につなげた。</p> <p>【地域貢献・他施設との連携】</p> <p>●市や教育委員会と連携し、市内小学校から多くの子どもたちに作品を鑑賞してもらうため、校外学習で約1,800人の小学生が来館した(市からの委託事業)。来館受入に当たっては、平成31年1月に整備された増築棟(ドラミ棟)を活用した。また、来館した全ての小学生に「またきてねチケット」をプレゼントした。</p> <p>●地元の川崎市内の洗足学園音楽大学と調整・連携し、ゴールデンウィークに弦楽4重奏、管楽5重奏の日にちを定め、屋外での音楽会(星空音楽会)を開催した。(再掲)また、同大学の学園祭においても、同じ演目による演奏会を開催するとともに、藤子ミュージアムとしての出店も行った。</p> <p>●まんが学年別ドラえもん名作選全6冊×2セットを全市立小学校117校に寄贈し、周辺の小学校の児童を招待し、寄贈式を行った。</p> <p>○HPの公式ブログに生田緑地ばら苑情報や、生田緑地スタンプラリーの情報を掲載するとともに、関連HPを案内して、周辺の情報提供を行った。</p> <p>○地域と密着した身近なミュージアムとなるよう、地元商店会の夏祭りや区民祭に出店した。</p> <p>○市と連携し、市主催の川崎市フラッグフットボール交流大会を「藤子・F・不二雄ミュージアムカップ」として継続して開催。参加した子どもたちをミュージアムに招待する「またきてねチケット」256枚をプレゼントした。</p> <p>○ミュージアム周辺に設置されているキャラクターのモニュメントや橋の欄干のレリーフなどの清掃を定期的実施した。</p> <p>○来館者が周辺地域を訪れてもらえるよう、市と連携して制作したミュージアム周辺地域の周遊マップを設置した。また、新たに中国版マップも設置した。</p> <p>○生田緑地にある美術館・博物館と連携し「夏休みスタンプラリー」を実施したことで、生田緑地近隣の回遊性の向上に貢献した。(夏休みを含む8月末まで実施、約7,000名が参加(前年約6,000人))</p>					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	4 (H30 4) (H29 4)	4.8
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	4 (H30 4) (H29 4)	1.6
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか	4	4 (H30 4) (H29 4)	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (H30 3) (H29 3)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	4 (H30 4) (H29 4)	1.6
(評価の理由)					
<p>【適正な人員配置】 ○ミュージアムの基本理念でもある「ホスピタリティ(おもてなし)」を実現するために十分な人員配置を行っている。また、経理業務に税理士資格を持った職員を配置しているほか、学芸員の資格を取得している広報職員が、ミュージアムや作品により精通した職員として展示・企画部門の業務を担当するなど、より良い施設運営を目指した効果的な人員配置を行っている。</p> <p>【連絡・連携体制】 ○所管課との定例会議を月1回実施するとともに、適宜、市担当との打合せを実施し、運営上の課題等に関する共有及び調整を行うなど、より良い施設運営に向けた打ち合わせを年間を通じ行った。</p> <p>【担当者のスキルアップ】 ○職員採用においては、藤子氏及び藤子氏の作品が大好きであることを条件とするほか、徹底したおもてなしの心を持った職員を育てるため、各種マニュアルの充実を図るとともにOJTによる技術研修など様々な教育・研修を実施しており、来館者へ質の高いサービスを提供できている。</p> <p>【安全・安心への取組】 ○事故・災害発生時の対応マニュアルに基づき、12月に多摩警察署、多摩消防署と合同での総合防災訓練を実施するほか、地震、火災、大雨・台風・水害など災害別の避難誘導訓練や、停電時を想定した訓練、消防設備取扱訓練、救急救命講習を実施するなど、多くの来館者を受け入れる施設として毎月多様な訓練・取組を実施した。また、令和元年5月に登戸駅近くで発生した事件を踏まえ、多摩警察署から助言をもらいながらテロ対策のマニュアルを検討するとともに、訓練を実施した。 ○猛暑に対応するため、入口と屋外にミスト装置を設置した。</p> <p>【環境負荷の軽減】 ○開館時に作品を忠実に演出するために演色性の高い展示用LED照明を採用し、2012年度「省エネ・照明デザインアワード」を受賞し、継続して省電力化を推進している。 ○ミュージアム設置のガシャポンカプセルはメーカーで回収し、再資源化を行っている。 ○屋上に太陽光発電装置を設置し、館内での消費電力の一部を発電によって賄っている。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	18	4 (H30 4) (H29 4)	14.4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由)					
<p>○施設・設備の保守管理については、来館者の安心・安全・快適性を確保するとともに効果的・効率的な施設の維持管理を行うため、各種設備のマニュアルのほか中長期修繕計画なども参考にした維持管理計画に基づき実施している。また、空調設備など使用頻度の高いものは設備の仕様以上に清掃を行っている。</p> <p>○清掃業務・警備業務・植栽管理など施設・設備の保守管理業務については、専門業者に再委託し適正に実施され、来館者が快適に過ごせるよう施設を維持している。館外の落ち葉等の清掃に当たっては、桜の花びらや落ち葉を使い、キャラクターを描き、来館者へ基本理念である「遊びコロ」による演出を行っている。</p> <p>○備品管理については、基本協定に基づき備品台帳を整備するなど適切に管理されており、ミュージアムで使用される備品や消耗品はミュージアムの一体感・雰囲気づくりを考えて用意されている。</p> <p>○衛生面については、常に館内外の「清潔さ」を保つよう配慮されており、高いレベルで管理されている。</p>					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
----	----	-----	----	------	-----

4. 総合評価

評価点合計	84	評価ランク	A
-------	----	-------	---

(H30 84)

(H30 A)

(H29 82.4)

(H29 A)

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムは、「多摩丘陵の恵まれた自然の中で、川崎市ゆかりの漫画家藤子・F・不二雄氏の作品の展示等を通じて、当該作品に込められたメッセージを子どもをはじめとするすべての世代に伝えることにより、市民の文化芸術活動の振興及び本市の魅力の増進に寄与する」ことを目的として設置した芸術文化施設である。

基本理念として、藤子・F・不二雄氏の作品等に込められた「夢」「希望」「勇気」「友情」「大いなる好奇心」そして「人を愛する優しい気持ち」などのメッセージを幅広い世代に伝えていくことを掲げており、具体的には「まんが文化」「遊びココロ」「SF—すこしふしぎ—」「コミュニケーション(ふれあい)」「新しい発見」「自然」「ホスピタリティ(おもてなし)」をミュージアムづくりの基本としている。

全体評価にあたっては、これらの目的及び基本理念を踏まえて評価を行う。

令和元年度は指定管理期間の9年目である。

開館記念日の9月3日には、毎年、開館記念事業を実施するなど、ミュージアムを大切にしたい運営を継続している。令和元年度はドラえもん50周年と題し、ドラえもんをテーマにした企画展を実施するとともに、令和2年2月に展示室Ⅰを開館以来初の大規模なリニューアルを行い、藤子プロやチケット販売会社、関連企業とも連携し、広報活動を積極的に行った。海外での映画公開が中止となったことにより外国人来館者が減少したこともあり、10月までの入館者数は前年をやや下回る状況が続いたものの、11月以降は、ドラえもん50周年展の好評により、前年を上回る状況であったが、2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響があり、結果として、来館者数は昨年を大きく下回った。また、前述のとおり、外国人来館者は対前年で約19,000人減少となったものの、全来館者数の約18.0%が海外からの来館者となっており、藤子氏の作品世界を体感していただくミュージアムとして、国内外への本市の魅力発信に大きく貢献している。

地元商店会の夏祭りや区民祭への出店、本市の子どもが参加するスポーツ大会への協力、さらには新たに地元の洗足学園音楽大学との連携した音楽イベントの開催など、地域との連携にも積極的に取り組んでいる。

指定管理業務としては、主にミュージアムの展示企画業務、施設運営業務、維持管理業務、その他管理運営に必要な業務があるが、各々の分野において、より良いミュージアムづくりを行っている。

○展示企画業務

「キテレツ大百科×ドラえもん 江戸時代の発明と未来のひみつ道具」に続き、令和元年7月から「ドラえもん50周年展」を開催し、ドラえもんはじまりをテーマとして誕生にまつわる展示、令和2年2月からは「爆笑！ギャグまんが「ゾ〜ットとするこわい話」をテーマとした展示をする」とともに、展示室Ⅰにおいては、開館後初めてとなる大規模なリニューアルを行い、ドラえもんの歴史を振り返る展示を実施しました。

○施設運営業務

指定管理事業においては、新型コロナウイルスなどの影響により収支は赤字となったが、来館者の安全、安心を第一に考えた対応を行っている。また、利用者ニーズに応じた運営を行うとともに、利用者からの意見を踏まえ業務改善を行うなど、より良いミュージアム運営に向けた取組を進めている。

○維持管理業務

各種設備点検や各種訓練等を確実に実施し、来館者が多い施設として危機管理意識を高く持ち、点検・訓練を行うとともに、安心して来館できる施設の維持に努めている。また、清掃など衛生面についても全体として高い水準で業務を遂行できている。

以上のことから、令和元年度の全体評価としては、持続的・安定的な運営を行うとともに、引き続き質の高いサービスを来館者に提供しており、適正に指定管理業務を実施したと言える。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

①収支については、海外での映画公開の中止等の影響、令和元年東日本台風による臨時休館、新型コロナウイルス対応のため3月5日からの臨時休館等により、入館者数は前年度比約85%で、指定管理事業において約990万円の赤字となった。新型コロナウイルス感染症は引き続き、施設運営にも影響が生じると考えるが、こういう時世であるからこそ、来館者の安全と安心を維持しながら、藤子ミュージアムの基本理念である藤子・F・不二雄氏の作品等に込められた「夢」「希望」「勇気」「友情」「大いなる好奇心」そして「人を愛する優しい気持ち」などのメッセージを幅広い世代に伝えていただきたい。

②来年度に開館10周年を迎える。その先の10年につながる、今後のミュージアムの持続的・安定的な運営に向け、ミュージアムの魅力をより多くの方々感じてもらえるよう、利用者満足度や利用者のニーズを把握・分析しながら、リピーターの確保や観光客の入館に繋がる取組や地域の方々へ愛着を感じてもらえるような取組に努めていただきたい。

③2021年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックを契機に、パラムーブメントの理念を踏まえ、国内外問わず本市の魅力発信拠点となるよう、本市の広報・観光担当課とも密接に協力・連携するとともに、指定管理者ならではのノウハウ及びネットワークを活用し、誰もが楽しめる「まんが文化」をはじめとするミュージアムの魅力を活かした管理運営に努めていただきたい。